



矢中だより

第25号

令和8年10月16日
由利本荘市立矢島中学校

小さな挑戦の積み重ねを～後期スタート～

4日間の秋季休業を終え、今週から二期制の後期がスタートしました。13日(火)の後期始業式では、校長から生徒へ「小さな目標を一つずつクリアし、それを自分の自信につなげていこう」と話を取組の指針として伝えました。

後期は、部活動の大きな大会も一段落し、じっくりと学習や進路実現に向き合い、力を伸ばす重要な時期となります。前期の成長や成果を糧に、新たな小さな挑戦を積み重ねながら、矢島中学校全体で互いに高め合っていけるよう支援してまいります。保護者・地域の皆様におかれましても、引き続き温かいご支援をお願いいたします。



学びを深める～第3期～

1年間を4期の「活動期」に分けて学校生活を過ごしておりますが、後期より「第3期」に入ります。これまでの経験をもとに自分や集団を見つめ直し、学びを深める大切な時期です。特に学習面では「わかった・できた」という達成感を育めるよう丁寧な支援に努めますので、ご家庭でのあたたかいお声がけもお願いいたします。

また、進路決定期を迎える3年生に向けては、自主学習や面談等を通して希望の進路実現を全力でサポートしてまいります。



第三期(十月十三日～一月十三日)
「学びの広野」
自己と集団を見つめ、
よりよい学校や生活を確立していこう

自己を鍛える～修錬の刻「第二步 入魂の刻」～

定期的に朝行っている「修錬の刻」ですが、10月に入り「第二步 入魂の刻(にゅうこんのとき)」に入りました。前期は、落ち着いた精神や無言で素早い行動など「こころ・意識」の成長に向けた取り組みでしたが、第二步からはさらに「心身を鍛える」姿勢を加えます。道着に着替え、いつもの「黙想」に続き、「木刀での素振り」を行います。

15日(木)にはオリエンテーションを行い、全体の動きを確認しました。張り詰めた空気の体育館に、気合の入った素振りの掛け声が響き渡り、矢中生の真剣な思いがひしひしと伝わってきました。



情熱を引き継ぐ～生徒会役員選挙～

15日(木)の午後、生徒会役員選挙が行われ、2年生を中心とした新体制のリーダーが決まりました。立候補者たちの演説からは「矢島中をより良くしたい」という強い思いと誠実さが伝わり、聴く側の生徒たちも真剣な態度で耳を傾けていました。選挙時にも伝えましたが、学校づくりはリーダーだけのものではありません。「全校生徒でともに創っていく」という意識を大切に、笑顔と活気に満ちた矢島中学校をさらに発展させてくれることを願っています。

生徒会役員選挙開票結果

会 長 ** **さん(2年)

副会長 ** **さん(2年)・** **さん(1年)

書 記 ** **さん(2年)

※期間は1年間



学校教育に関するアンケートのお願い

15日(木)に生徒さんを通じて、「学校教育に関するアンケートのお願い」を配付しました。何卒ご協力をよろしくお願いいたします。提出期限は**10月23日(金)**です。